

中公みはら芸備かわら版



暑中お見舞い申し上げます。
皆様いかがお過ごしでしょうか？ 暑い夏にもかかわらず生涯学習は衰えず益々元気な声が館内に響いています。
中央公民館では初めて体験講座で“アート書道”を開催しました。「最近では筆を持つのは“香典”を書く時だけです。」と笑って
おられた方も受講されていました。今回はその“アート書道”を紹介します。19名の方が受講されました。

アート書道とは

書の常識を超えて
日常生活にある物を
創意工夫し 遊び心溢
れる筆文字という意味
です。

真剣な眼差しで
指導されていました。



“ありがとう”とかいて
あります。



夏休みには、公民館・コミセンで 夏休み子ども講座が開催されています。夏休みには、どの公民館・コミセンも子ども達の笑
顔と真剣な眼差しで、いっぱいです。子ども講座を開催していると、自分が子どもの頃は何をしたのだろう？とふと、遠い昔を
思い出しては懐かしさに浸ることがあります。そしてまた時の流れを感じます。9月号で、子ども達の完成した作品を紹介します
。どうぞお楽しみに！！



体験講座紹介

新しい風・生涯学習

親子でクッキング
(チョコチップスコーンと
ピーチゼリー)

日程 8月9日(金)
場所 調理室(3F)
時間 10:00~13:00
定員 親子12組
参加費 1,100円
締切り 8月7日(水)

**おいしく食べて
カロリー控えめ料理**

日程 8月23日(金)
場所 調理室(3F)
時間 10:00~13:00
定員 大人 24人
参加費 600円
締切り 8月20日(火)

9月に行う“笑いヨガ”を
紹介します。
インドの医師が生み出
したエクササイズ“笑い
ヨガ”は理由なく笑うと
ころが面白い。
笑いのある人生を選ぶ
方はぜひ体験してみて
ください。
ワハハハ！

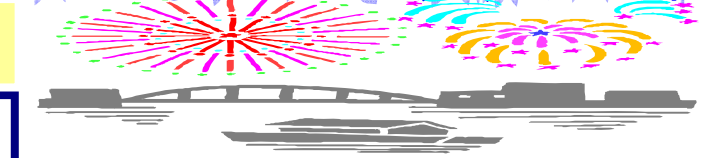
ツクツクボウシ

今、中央公民館では、朝から
蝉の鳴く声で夏を感じていま
す。夏の終わりを告げるツク
ツクボウシが鳴くのはいつ頃
なのでしょうね？



三原やっさ祭り 8月9・10・11日
咲かせよう やっさで笑顔の人の華

中央公民館玄関前で、暑い夏を告げるように、ハイビスカス
と朝顔の花が華麗に咲き誇っています。夏だなあ～！！



9月の体験講座紹介
お楽しみに！！

- ① 家庭で作れるやさしい料理
- ② チャイルドタッチケア(1才児)
- ③ チャイルドタッチケア(2才児)
- ④ クラフトテープでかご作り
- ⑤ 笑いヨガ
- ⑥ 刃物の復活(包丁・はさみの砥ぎ講習)



三原市中央公民館
三原市円一町2丁目3番1号
講座の申込先 中央公民館生涯学習課
TEL 0848-64-2137



新連載企画

「海・山・空」夢ひらくまち

みはら地名由来学

【田野浦町(たのうらちよう)】

沼田川に最初に架かった橋！

定屋橋(じやうおくぼし)！

三原駅南口のバス乗り場、4番へ行く「田野浦(青葉台)方面」という案内文字があります。ここから、宮浦を経由、皆実から三原大橋を渡り、和田に入り、さらに宗郷へ、田野浦小学校から明神を経て、田野浦・青葉台に着きます。和田・宗郷・明神・久和喜・畑の山(現在の登町)は昭和十一年(1936)十一月十五日に三原市が誕生するまでは田野浦村でした。田野浦は、海辺に開かれた集落で、原始時代には、この一帯は海が各谷々に奥深く入り込んでいた地域でした。天保四年(1833)新倉と明神を結ぶ橋を、雙照院の十世定屋和尚が私財を投じて沼田川に最初に橋を架けました。今でも、橋の南側に定屋和尚架橋碑があります。現在の橋は、6度目に架け替えられた橋です。

沼田川の渡し舟



沼田川に最初の橋を架けた定屋和尚



沼田東町(ぬたひがしちよう)

沼田川の東-沼田川の下流は東！

広々とした田園(先人の努力に感謝)

沼田川は、全長約47.8kmで広島県内では、太田川・芦田川について3番目の流域面積があります。昭和の初期までは本郷町船木あたりまで舟運があったといわれています。沼田川及びその支流域は水田地帯で沼田千町田と呼ばれてきた所で、湿地が多く田植えや稲刈りの時には田舟を使って作業をしなくてはならなかったようです。大正の始め頃より、七宝に排水施設の工事が進められました。大正十五年(1926)には、大洪水で天井川が決壊し、家屋九十軒余りが浸水。復旧工事が行われ、昭和二十四年(1949)に電力排水機が設置されました。旧三原市で広々とした田園は、ここ沼田東町でしか見ることが出来ません。これらの田園は昭和四十八年(1973)から十年の歳月をかけて圃場整備事業により、今のようになくなりました。古き時代を考えて、先人たちの努力に対して感謝の心を抱くことも必要であります。明治二十二年(1889)に兩名・末光・釜山・七宝・本市・片島・納所・末広の八ヶ村が合併し旧村名が大字となり、面積の広い町です。

田園地帯



初代七宝排水工事の様子(大正5年頃)



沼田西町(ぬたにしちよう)

エヒメアヤマメと工業団地

愛媛県で最初に発見されたから！

広島県では沼田西町が最初！

沼田西町は、沼田川下流右岸に位置し、中世には沼田荘安直郷に含まれていました。明治二十二年(1889)に小原・松江・惣定の3ヶ村が合併して豊田郡沼田西村となり、昭和二十九年(1954)に三原市沼田西町となりました。松江に入る一帯の、地下1.3mから16mに至る土砂は海砂で原始時代以前は海であったといわれ、貴重な資料として沼田西小学校に保管されています。沼田西といえばエヒメアヤマメが自生し、南限地帯として昭和十年(1935)に国の天然記念物指定され、開花期には、多くの鑑賞者でにぎわっています。その蔭では、地元の皆様の気働きが見受けられます。さらに工業及び住宅団地もあり、近年、人・物の動きが見える地域でもあります。



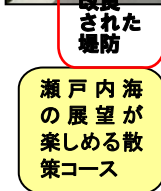
小泉町(こいずみちよう)

小泉町には大字がない？1村1町！

紅白ではなく、白滝山と黒滝山

位置し、応永三年(1396)の小早川家

文書に、沼田荘内小泉村とあり、中世から存在した大村であります。この地域にも、北に吉井山古墳群、南に長古原古墳群の歴史的遺産があり、いずれも6世紀末のもの思われます。天井川？川床が、田や宅地より高いところを流れているから名づけられました。天井川の流域に広がる低地は、江戸時代から明治・大正・昭和初期にかけて土砂流出がおびただしく、水害に悩まされ、水との戦いが繰り返された村で、現在も堤防の整備がされています。白滝山は標高三五〇mあり、筆影山三一〇mより高く、黒滝山(竹原市)に至る道は瀬戸内海を見ながら散策ができる遊歩道として整備されています。



「三原をもっと知ろう」ということで三原の歴史、地形や人々の暮らしなどから「地名」が付けられていることを、広島民俗学会理事 榎 博自先生の「みはらみある記」―町名考&ふるさと歴史散歩―と歴史民俗資料館の資料を参考文献にさせていただきます。

写真は、三原市ホームページの歴史民俗資料館より。

皆さんのご意見をお聞かせください。地名には、自然環境・地形から命名されたものや当時の荘園の私有地の人名、最近では瑞祥地名(めでたい地名)や公募での地名等も見受けられます。